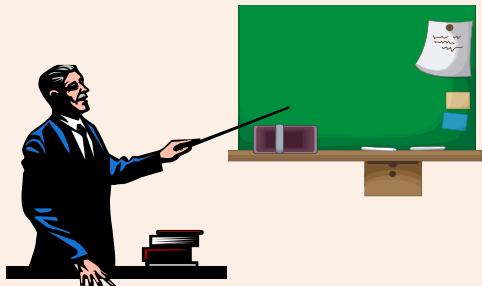


従来の養成課程(スクール形式)



教室

講師

1日の授業時間は2時間以上7時間以内

e-ラーニングによる養成課程(インターネット)



インターネット回線

自宅

講師

質問等

自宅で自分の好きな時間に受講が可能

第2級アマチュア無線技士養成課程を従来の養成課程で実施しようとした場合、長期間受講者を拘束することが想定され、負担が大きい。
(参考)

第3級アマチュア無線技士:16時間

第4級アマチュア無線技士:10時間

e-ラーニングで実施するとすれば

e-ラーニングには

① 長時間の講義であっても、空いた時間に受講が可能。**(講習時間が長いほどメリットが大きく、授業時間の問題が解消。)**

② 受講場所を選ばないため、インターネット等の利用環境があれば、だれでも受講可能。講習実施者としても受講生を広く募集することができ、教室の確保などの負担が軽減される。

(受講者・実施者双方に大きなメリット)
等のメリットがあります。

以上から、無線従事者の養成課程に第3級アマチュア無線技士の直近上位である第2級アマチュア無線技士を追加することを検討するもの。

無線従事者資格のうち養成課程の対象資格

総合

第1級総合無線通信士
第2級総合無線通信士
第3級総合無線通信士

海上分野

第1級海上無線通信士
第2級海上無線通信士

航空分野

航空無線通信士
航空特殊無線技士

陸上分野

第1級陸上無線技術士
第2級陸上無線技術士

アマチュア

第1級アマチュア無線技士

第2級アマチュア無線技士

第3級海上無線通信士
第4級海上無線通信士
第1級海上特殊無線技士
第2級海上特殊無線技士
第3級海上特殊無線技士
レーダー級
海上特殊無線技士

第1級陸上特殊無線技士
第2級陸上特殊無線技士
第3級陸上特殊無線技士
国内電信級
陸上特殊無線技士

第3級アマチュア無線技士
第4級アマチュア無線技士

現在の養成課程対象資格(全23資格中14資格)

新たに対象として検討する資格

注:養成課程対象資格は、全てeラーニングによる講習が可能